

---

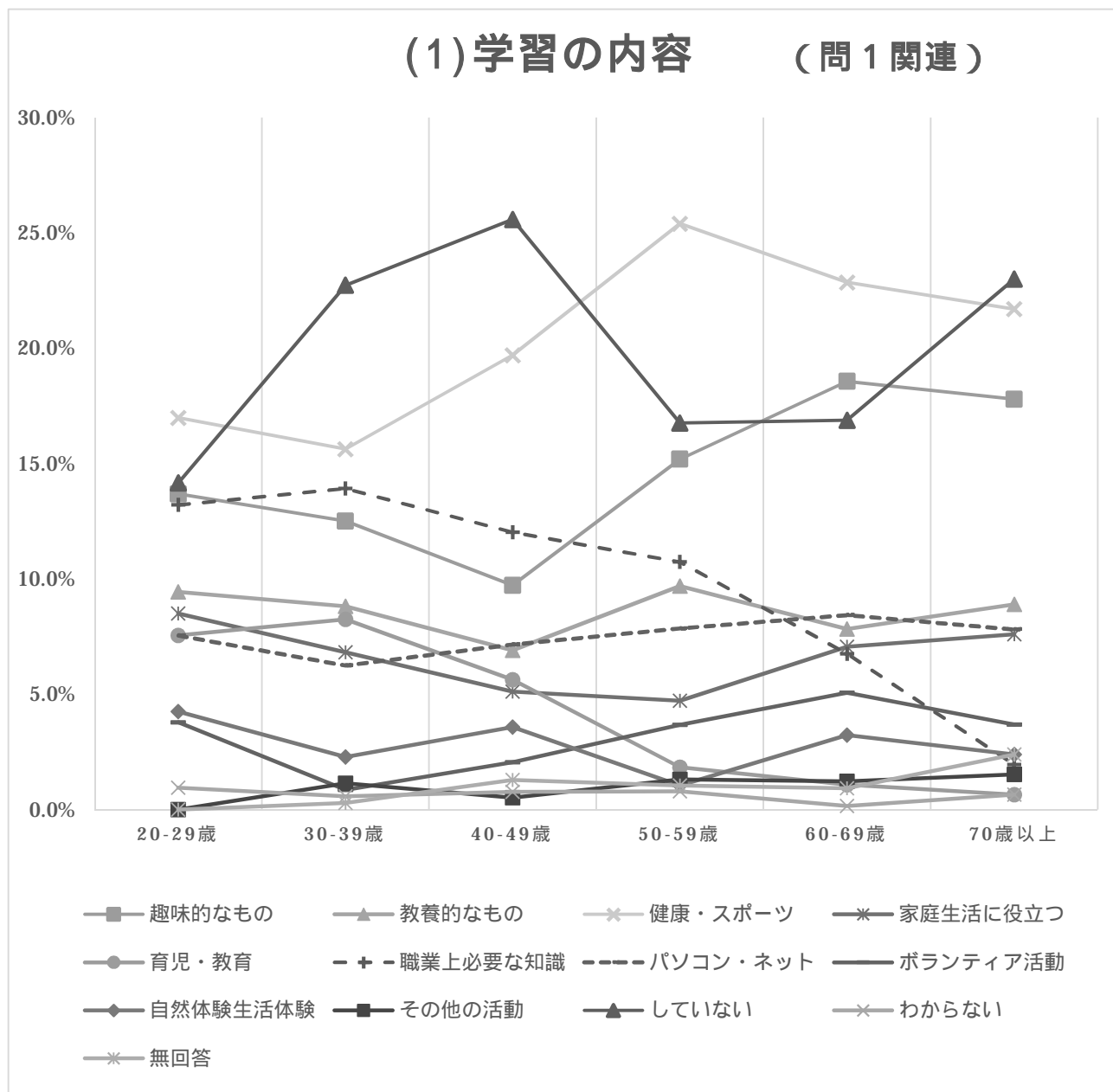
---

## . 調査の分析

---

---

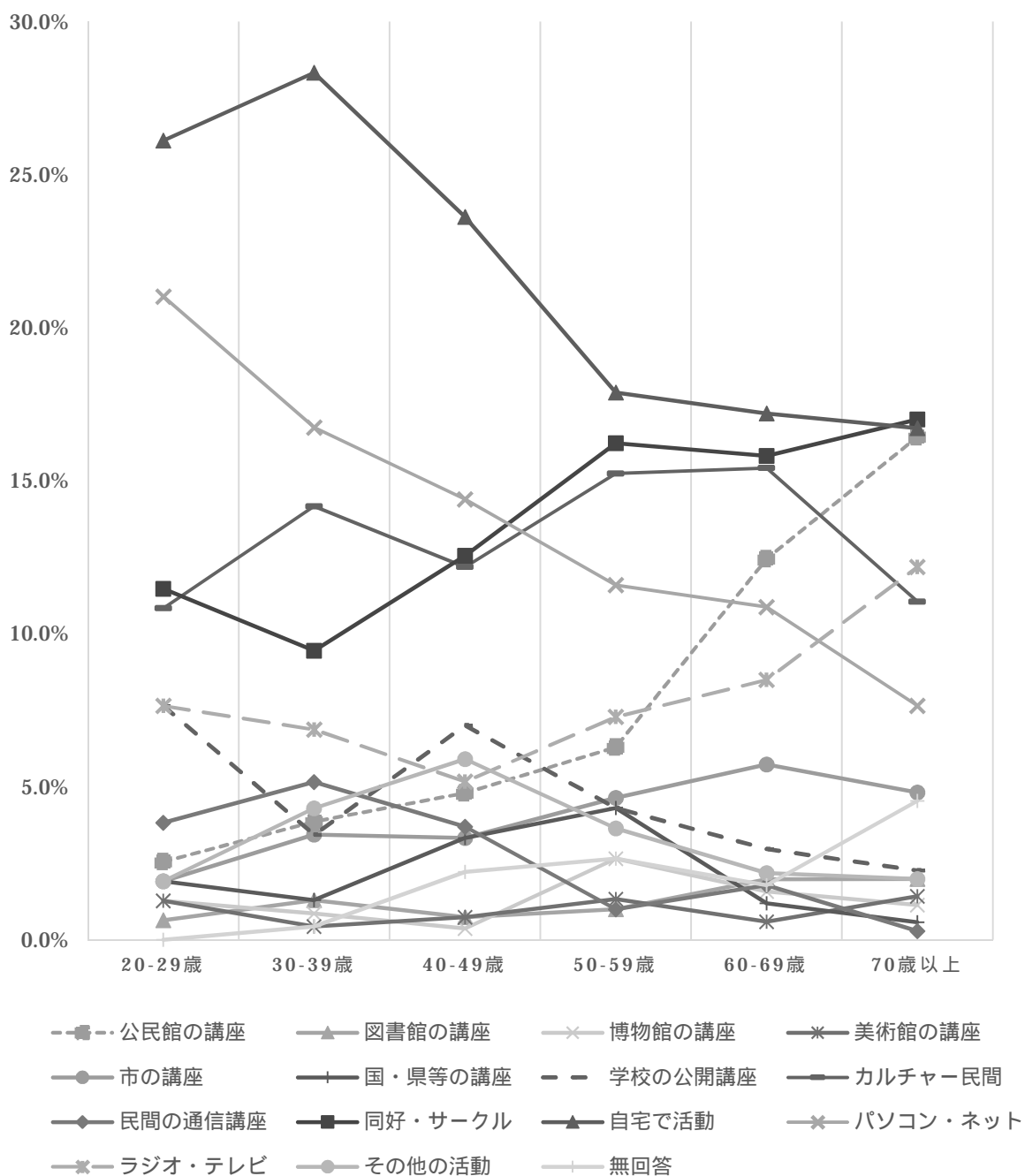
# 1. 生涯学習の活動について



1年間の生涯学習の実施状況については、実施された生涯学習の内容は、全ての年代において、「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）」、「趣味的なもの（文学、歴史、科学、語学、社会問題など）」の実施比率が高い。また、「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）」、「趣味的なもの（文学、歴史、科学、語学、社会問題など）」は20歳代～40歳代よりも、50歳代～70歳以上の方が高い。「職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）」は、20歳代～30歳代で高く、年代が上がるにつれ徐々に低くなり、70歳以上で最も低い。

一方で、生涯学習を「していない」と回答した比率は、30歳代～40歳代と70歳以降で高くなる傾向にある。

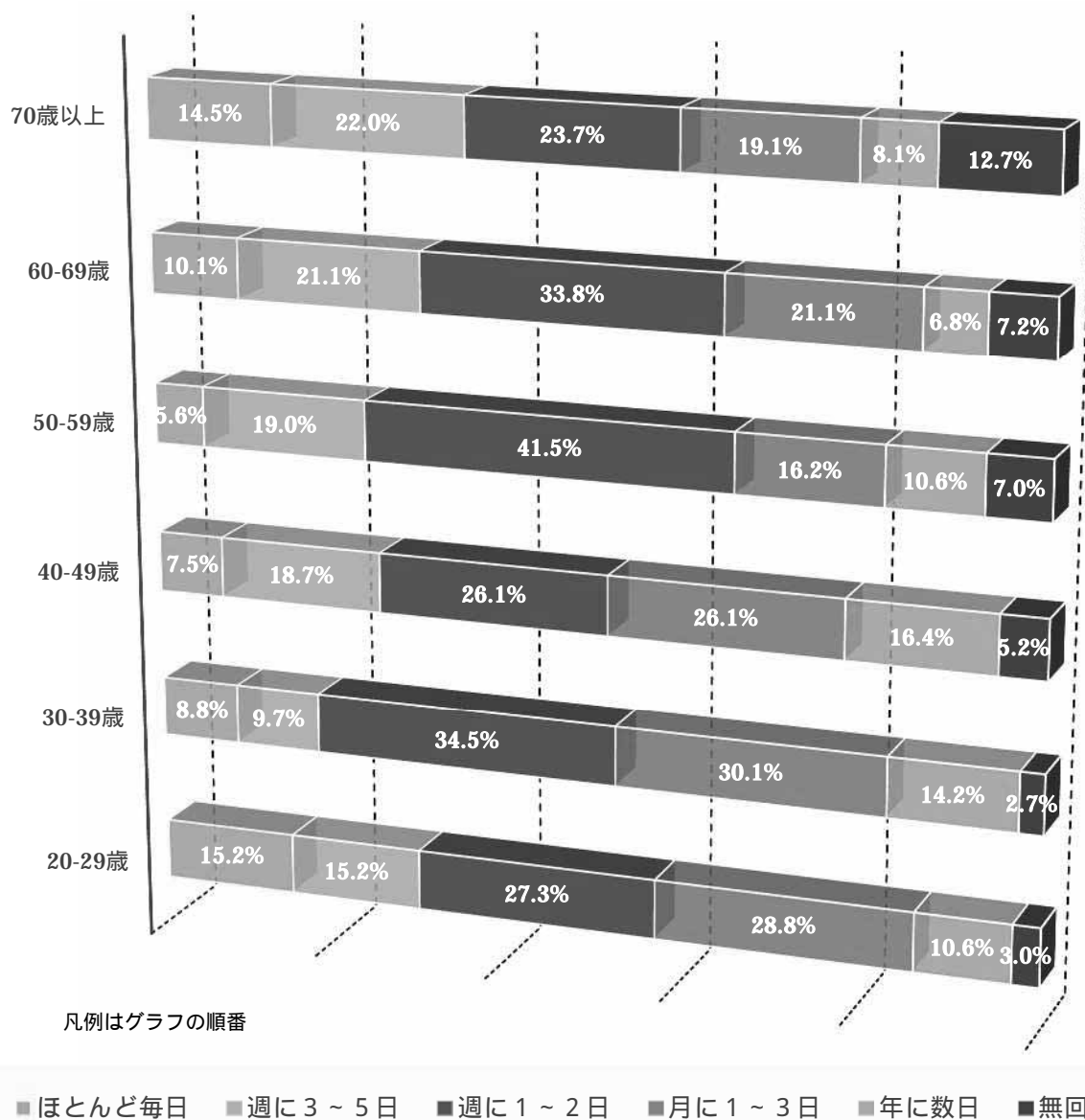
## (2) 学習の手段 (問2関連)



生涯学習を行う方法については、60歳代までは「自宅で活動（本や雑誌等による自主的な学び）」の比率が最も高い。70歳以上の年代では「同好者が自主的に行っている集まりやサークル活動」が最も高い比率を占めている。

また、「公民館の講座や教室」の比率は年代が上がるほど高くなり、一方で「パソコン・インターネット」の比率は年代が下がるほど高くなっている。

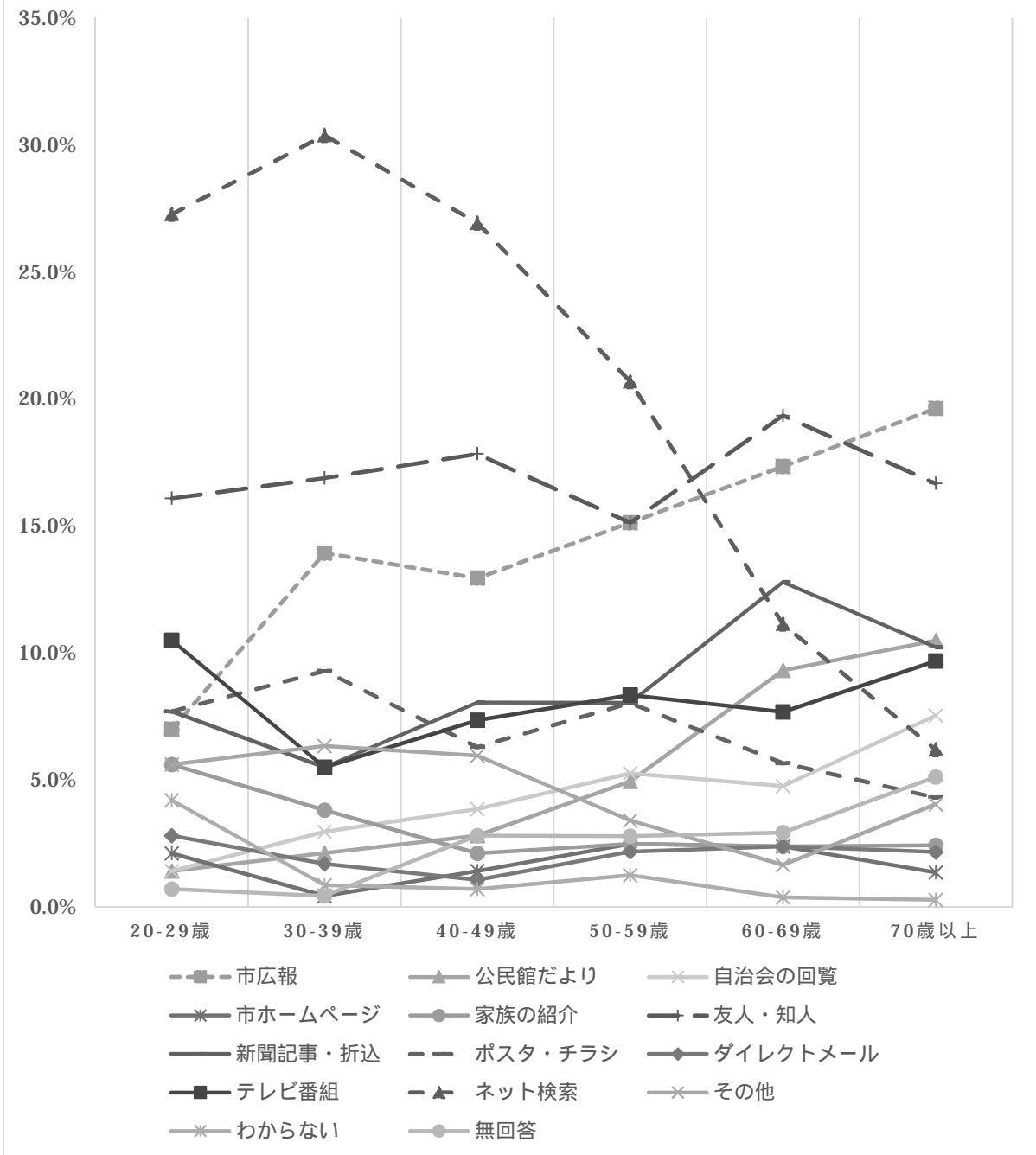
### (3) 学習の頻度 (問3関連)



生涯学習を行う頻度は、各年代ともに「週に1~2日」、「月に1~3日」の比率が高く、特に50歳代では「週に1~2日」の比率が約4割を占めている。

また、40歳代~70歳以上では年代が上がるにつれ、「週に3~5日」の比率が高くなっている。

#### (4) 情報の入手方法 (問4関連)

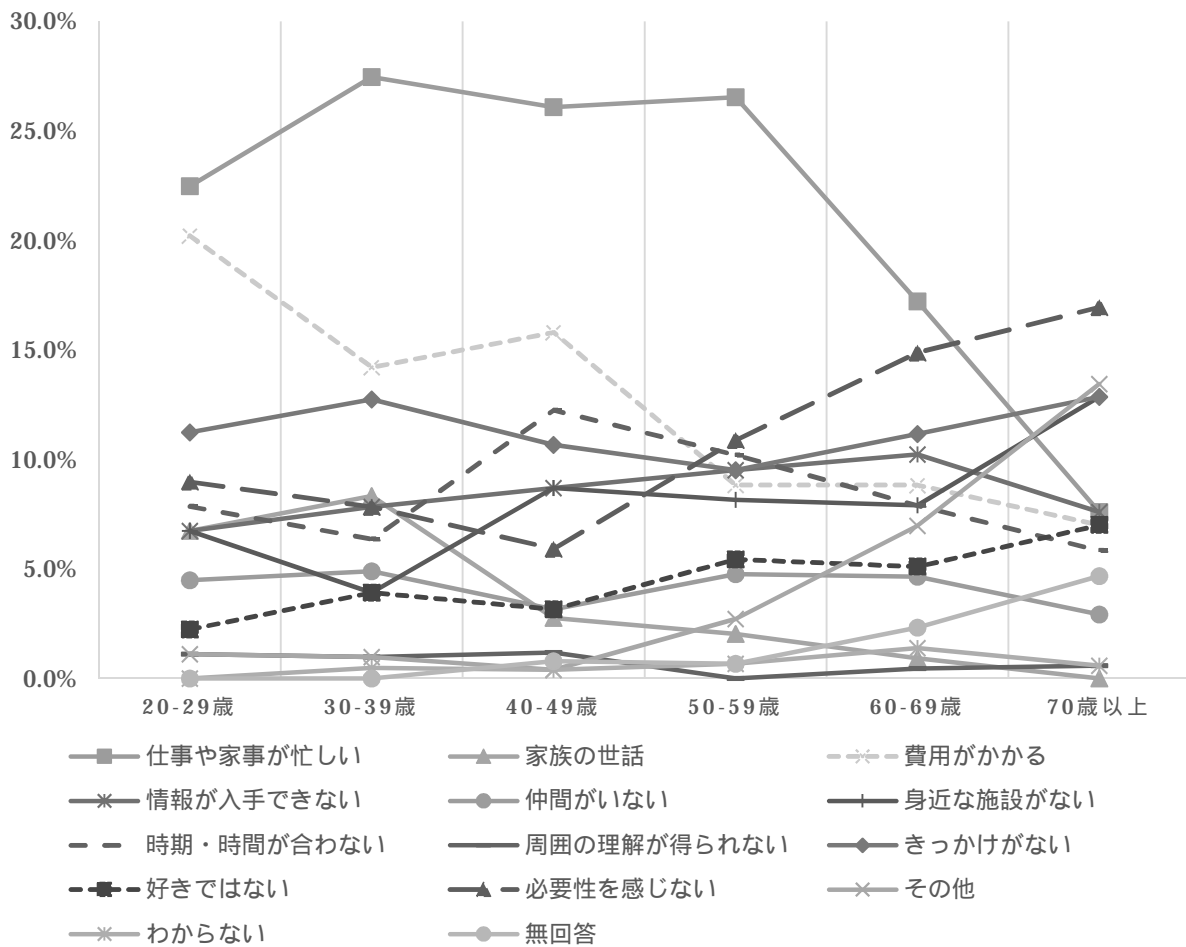


情報の入手方法については、20歳代～50歳代では「インターネットなどによる検索」の比率が最も高い。

60歳代～70歳以上の年代では、「川越市広報」の比率が高くなっており、70歳以上では2割を占める。

また、「友人、知人からの口伝え」は、各年代ともに上位を占めている。

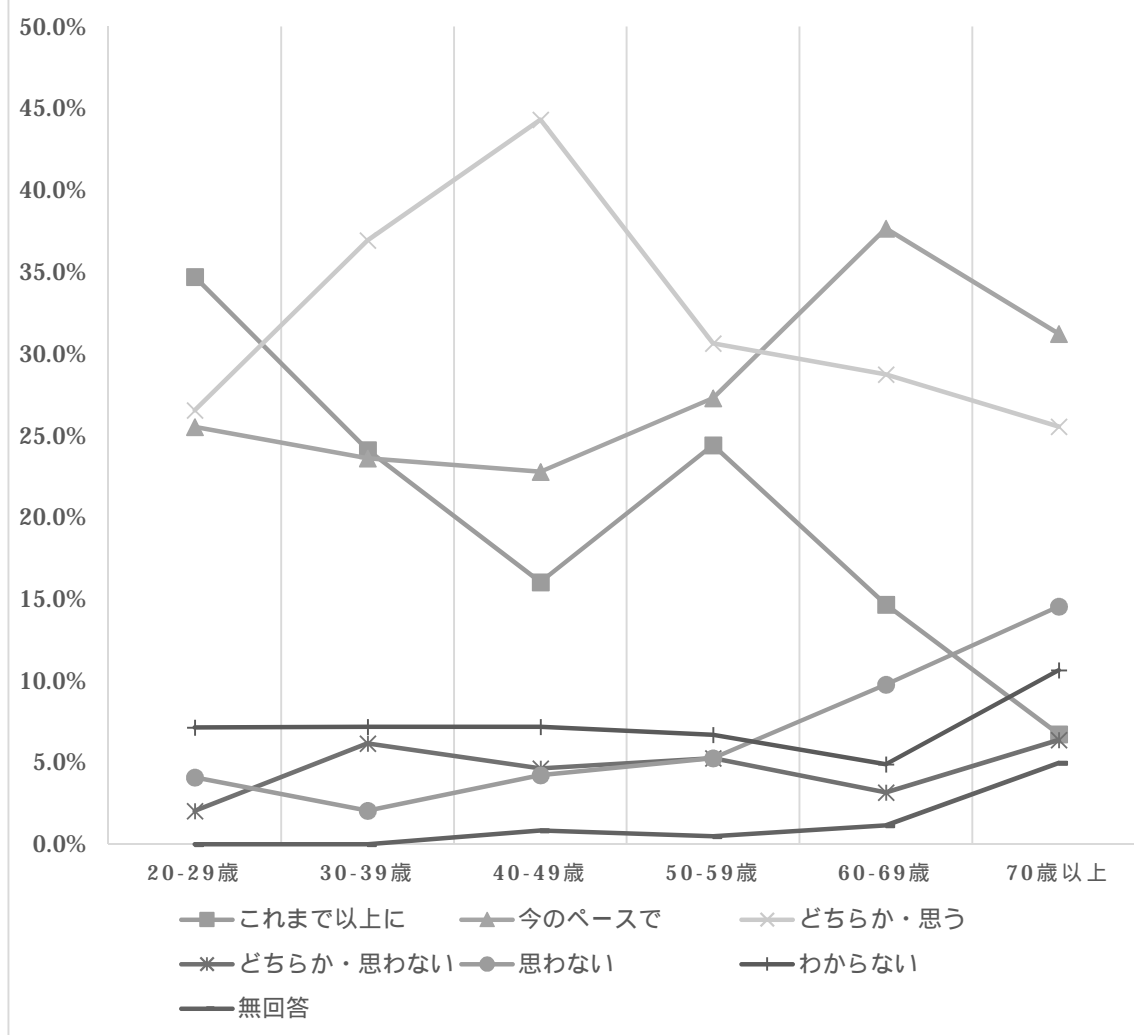
### (5) 学習をしない理由 (問5関連)



生涯学習活動を行わない理由については、「仕事や家事が忙しくて時間がとれない」「費用がかかる」の比率が、年代が下がるほど高く、年代が上がるほど低くなっている。20歳代～50歳代では「仕事や家事が忙しくて時間がとれない」の比率が最も高く、50歳代を境として急速に低くなり、「費用がかかる」の比率は、20歳代を頂点として徐々に低くなる。

一方で「特に必要性を感じない」とする回答の比率は、40歳代を底辺として年代が上がるにつれ高くなっている。

## (6) 今後の学習 (問6関連)



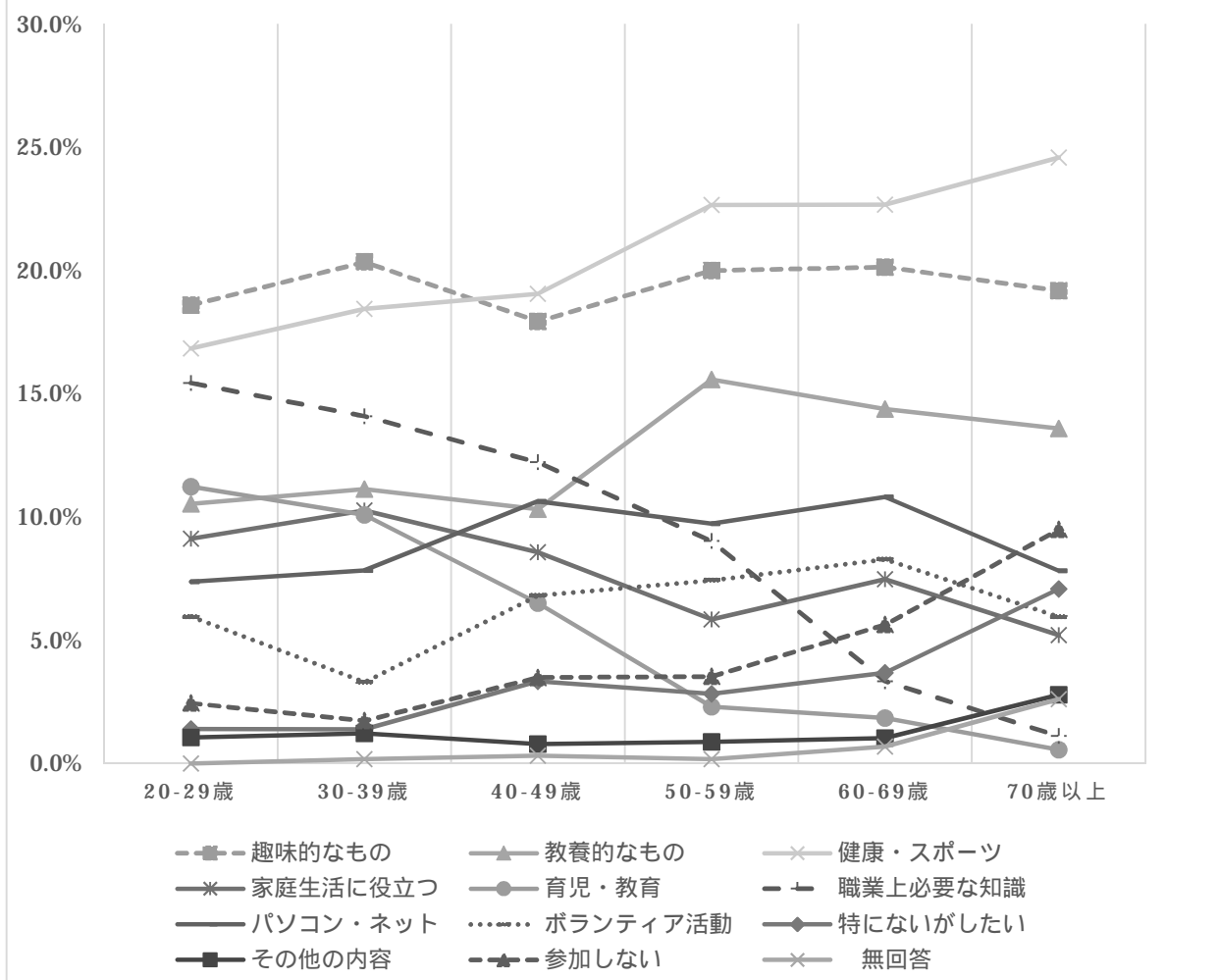
今後の生涯学習活動については、20歳代は「これまで以上に活動したい」、30歳代～50歳代は「どちらかといえば、活動したいと思う」、60歳代～70歳以上では「今のペースで活動したい」の比率がそれぞれ最も高くなった。

また、「どちらかといえば、活動したいと思う」と回答した比率は各年代ともに上位を占め、20歳代から40歳代へ向かって高くなり、40歳代を頂点に70歳代へ向かって低くなっている。

一方で、「今のペースで活動したい」と回答した比率は、20歳代から40歳代へ向かって低くなり、40歳代を底辺に年代が上がるにつれ高くなっている。

## 2. 西部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）について

(7) 市民活動・生涯学習施設で希望する学習講座  
（問7関連）

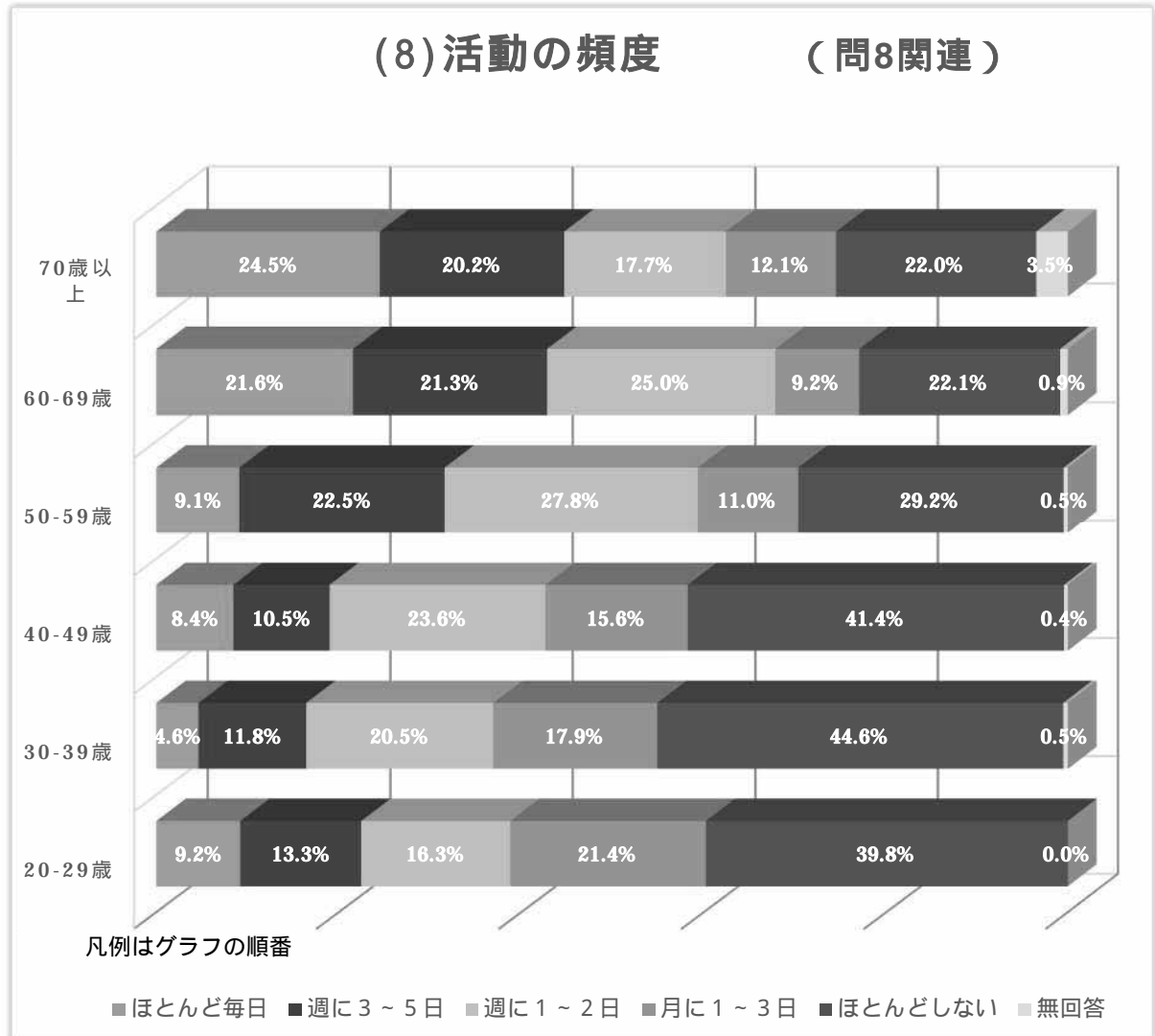


西部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）内に設置される市民活動・生涯学習施設で、希望する学習講座は、全ての年代において「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）」「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、軽体操など）」の比率が高い。

また、「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、軽体操など）」「教養的なもの（文学、歴史、科学、語学、社会問題など）」の比率は年代が上がるほど高く、「職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）」「育児・教育（幼児教育、教育問題など）」の比率は年代が上がるほど低くなっている。



### 3. スポーツ活動について



スポーツをする頻度については、60歳代以上では「ほとんど毎日」する人の比率が高く、年齢層が下がるにつれてスポーツをする頻度は低くなる傾向がある。特に40歳代以下は「月に1~3日」、「ほとんどしない」など頻度が低い方の割合が過半数を超えている。

## (9)興味がある種目、参加したい種目 (問9 関連)

20歳代      30歳代      40歳代      50歳代      60歳代      70歳以上

1	ヨガ	ヨガ	ヨガ	ウォーキング	ウォーキング	ウォーキング
2	バトミントン	水泳	ウォーキング	ヨガ	ハイキング	ハイキング
3	ボウリング	ウォーキング	ハイキング	ハイキング	ヨガ	体操
4	テニス	ハイキング	水泳	水泳	水泳	グランド・ゴルフ
5	ハイキング	テニス	テニス	体操	ゴルフ	無回答
6	ジョギング・マラソン	ジョギング・マラソン	ジョギング・マラソン	ゴルフ	ボウリング	水泳
7	ウォーキング	ボウリング	ゴルフ	ジョギング・マラソン	体操	ヨガ
8	水泳	バトミントン	バトミントン	卓球	卓球	卓球
9	フットサル	ゴルフ	エアロビ	ボウリング	ジョギング・マラソン	ゴルフ
10	スキー	エアロビ	体操	バトミントン	太極拳	ボウリング

興味のあるスポーツについては、全ての年代において「ウォーキング」「ヨガ」「ハイキング・ピクニック」の比率が高い。「水泳」の比率も各年代で上位であるが、30歳代以降特に高くなっている。また20歳代、30歳代、40歳代では「テニス」「ジョギング・マラソン」が上位に入っており、70歳以上では「体操」「グランド・ゴルフ」が上位に入っている。